

令和  
6年度

# COMPASS Jr

## 事業所における自己評価総括表(公表)

○事業所名	COMPASS Jr
○保護者評価実施期間	令和6年9月9日～令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 18名 (回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和6年10月25日～令和6年10月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名 (回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月25日

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援計画を示しながら、支援内容について丁寧に説明を行っております。	保護者への説明については、計画書の内容から要点を伝えながら、子どもの課題に沿った内容となっているかを確認し、一方的な説明にならないよう同意を得ながら進めております。	支援計画の交付時期だけでなく、保護者が相談しやすい環境づくりに努めてまいります。
2	個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、適切に管理しております。	鍵付き書庫に保管し、開錠・閉錠の際には管理簿を記録しております。	書庫に保管する書類だけでなく、月刊で発行している活動のお知らせに掲載する児童の写真についても、保護者様へ確認を行いながら、取り扱いに十分注意してまいります。
3	虐待防止のため、職員の研修機会を確保し、適切な対応を徹底しております。	法人全体で定期的に研修の場を設け、日々の支援の中で職員同士が情報共有を行い、さまざまな視点から朝礼等で振り返りを実施しております。	虐待につながらないよう、必要な備品を購入するとともに、現在あるものを活用しながら防止策を検討し、今後も話し合いを重ねてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各ご家庭単位での情報共有や連携はできておりますが、父母の会などの交流会は開催できておりません。	地域住民の方を招待することについては、現在の事業所の体制上、難しいと考えております。	まずは保護者様のご意向を確認し、実際に集合しなくても情報発信ができる方法を模索していく必要があると考えております。
2	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営は現状実施できておりません。	保護者の勤務の都合や、必要としていないという声もあるため、現状では帰りの送迎時に保護者様とお話できる程度で、研修の機会や情報発信までには至っておりません。	地域で行われているイベント等への参加が、取り組みやすい方法の一つであると考えられるため、そのような情報を集約し、地域の方と関わる機会を設定できるよう検討してまいります。
3	保護者に対する家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングⅢ等)や、家族も参加できる研修会・情報提供の機会は実施できておりません。	保護者の勤務の都合や、必要としていないという声もあるため、現状では帰りの送迎時に保護者様とお話できる程度で、研修の機会や情報発信までには至っておりません。	保護者のニーズを深掘りし、研修の機会を待つだけでなく、積極的に情報収集を行ってまいります。